



岸本区政3度目の新年度予算賛成多数で可決

物価高騰対策、区民生活への支援が前進!

杉並区議会第1回定例会が2月12日から3月19日まで行われ、岸本聡子区長の3度目の予算提案となる令和7年度杉並区一般会計予算が賛成多数で可決されました。

日本共産党区議団は、長期化する物価高騰のもとで、岸本区長の予算案が、区民生活への支援や負担軽減、住民自治を進める「対話の区政」の前進に寄与していることを評価し、賛成しました。

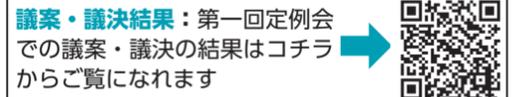
同時に、昨年から取り組んでいる「暮らし・区民への要望アンケート」に寄せられた切実な声を届け、物価高騰対策や教育費の負担軽減に向けた取組など、積極的な提案を行いました。

予算には、日本共産党のほか、立憲民主党、公明党など27人が賛成。自民党、無所属・都民ファーストの会など20人が反対しました。(下表)

【令和7年度 杉並区一般会計予算】に対する各会派の賛否 (可決、賛成 27: 反対 20)

Table with columns for party names (自民, 共産, 立憲, 公明, 無都, 維無, 生ネ, れ耕, 安心, 参政, 革新, セン, 緑グ, 杉わ, 共生, 無, 杉ク, fr) and rows for '賛否' (賛成/反対/退席) and '賛否' (賛成/反対/退席).

【賛否】○/賛成、×/反対、退/退席。「維無」は1名が議長のため、賛否は3名のみ表明。【会派の正式名称】自民/杉並区議会自由民主党、共産/日本共産党杉並区議団、立憲/立憲民主党杉並区議団、公明/杉並区議会公明党、無都/無所属・都民ファーストの会、維無/維新・無所属議員団、生ネ/区議会生活者ネットワーク、れ耕/れいわを耕す、安心/安心・安全杉並の会、参政/参政党杉並、革新/都政を革新する会、セン/杉並をセンタク致し候、緑グ/緑の党グリーンズジャパン、杉わ/杉並わくわく会議、共生/共に生きる杉並、無/無所属(堀部)、杉ク/区政杉並クラブ、fr/far right。(2025(R07)年3月24日現在)



主な新規・拡充事業

- 防災・防犯用品カタログギフトの配布
■ ひきこもり支援推進事業
■ 介護事業所等の介護人材の定着・育成支援
■ エデュケーション・アシスタント(小学校の担任の業務補佐)の全校への導入
■ グリーンインフラを活用した水害対策
■ 中高生世代を対象とした気候変動対策に関するワークショップ開催
■ 女性の健康相談の充実
■ 出産・子育て応援事業の拡充
■ 放課後等居場所事業の拡充(新たに3校で開始)

暮らしへの支援策が拡充

家賃助成制度が実現

岸本区長が公約に掲げ、共産党区議団も求め続けてきた家賃助成がスタート。対象は、区営住宅の抽選に落選した低所得のひとり親世帯や多子世帯。助成額は年間30万円で最大2年間助成。あわせて、低所得者を対象とした転居費用助成も実施。

キャッシュレスポイント還元事業

地域経済の活性化と区民生活への支援として、区内でPayPay決済した利用者に対し、決済額の一部をポイント還元(還元率15%、付与上限額3000ポイント)。取扱い店舗は約8,000店。実施時期は5月中旬～6月末まで。

子ども食堂支援

社会福祉協議会による支援に加え、子ども食堂の運営費、立ち上げ設備費へ区が直接助成。

移動教室「まかない費」徴収廃止

小学校の移動教室における「まかない費」(食費1食500円、2泊3日3000円)の徴収を廃止し、保護者負担を軽減。

施設使用料据え置き、高齢者の使用料減額

施設使用料の引き上げを発表する区も多いなか、杉並区は使用料の据え置きを決定。また、新年度は、コミュニティふらっとの高齢者優先枠が拡充され、2026年度からは枠数制限なしで無料に。さらに、平日正午・14時までに限定されていた高齢者のトレーニングルームとプールの使用料半額制度は、土日祝日を問わず終日に拡充されます。

演台を叩いて大声を発し、教育長、区職員らを威嚇
田中ゆうたろう議員に対し、超党派21人が懲罰動議を提出

2月19日の杉並区議会本会議の一般質問で、田中ゆうたろう議員(杉並をセンタク致し候)は、教育長や区職員に顔を向けながら右手を振り上げ、演台を強く叩き「ふざけるなどっておきます」と大声を張り上げました。

田中議員の暴力的な行為に対し、議長が2度に亘り注意。岸本区長も田中議員への答弁の冒頭に「(傍聴者などが)大きな衝撃と恐怖を感じたのではないかと」の異例の抗議を行いました。田中議員から、謝罪、弁明の発言は一切ありませんでした。

◎会派間では合意に至らず有志で動議を提出



本会議終了後、議会運営委員会・理事会が開かれ、共産党、立憲民主党、公明党、維新・無所属などの会派から、田中議員に厳しい対応をすべきとの意見が出されました。しかし、自民党、無所属・都民ファーストの会は、議長の注意で十分との見解を示し、理事会としては合意に至らなかったため、21日、共産党、立憲民主党、維新・無所属及び少数会派の有志21人が連名で田中議員に対する懲罰動議を議長に提出しました。(写真)



◎懲罰特別委員会を設置、審査が始まる

懲罰動議は、3月18日の本会議に上程され、懲罰特別委員会が設置されました。日本共産党からは富田たく議員が委員となりました。

この日の委員会では、委員長・副委員長を選出し、今後の委員会の持ち方などが話し合われました。

議会運営の正常化に向け、次回以降の特別委員会でも全力を尽くします。

日本共産党区議団の質疑ポイント紹介

「対話の区政」住民参画と協働が進む

岸本区政のもとで、様々な分野で「対話の区政」の取り組みが前進しています。山田議員の質疑で、この間の区民との対話の機会は、26事業300回、参加者数は延べ1万人を超えたことが明らかに。前・田中区政と比較しても格段に増加しています。

「対話の区政」は、合意形成に時間がかかりますが、住民自治を進めるうえで重要な土台となるものであり、さらに推進の努力を求めました。



山田耕平議員

教員不足、長時間労働の是正、不登校支援を求める

教員の長時間労働の是正と教員不足の解消は喫緊の課題です。小池議員は、区費教員を新たに増員するなど、取り組みの強化を求めました。

区教委は「教員に対する働き方アンケート調査や働き方プランの計画策定、副校長支援員の拡充を検討していく」と答弁。また、不登校支援については「相談先を明記したわかりやすい案内の作成や、保護者に向けた相談会を支援団体と協力して行う」と答えました。



小池めぐみ議員

岸本区政で震災対策が前進

富田議員は、区内建築物の耐震化について質問。

党区議団は、経済的な理由で改修工事を行えない世帯でも耐震改修助成制度を利用できるよう、助成限度額の拡充を求めてきました。質疑で、耐震改修助成の限度額引き上げや、障害者の方などが居住する木造住宅の助成額を加算するモデル事業の経費が新年度予算に計上されていることを確認。岸本区政下で震災対策が前進していることを評価しました。



富田たく議員

高齢者の切実な声を届け、支援拡充を迫る

くすやま議員は「低年金なのに住宅の家賃が高く生活が大変」「病気になっても頼れる人がいない」など、区議団アンケートに寄せられた高齢者の声を紹介し、手立てを取る努力を求めました。

区は「セーフティネット住宅などの低廉な家賃の住宅確保に努めていく」「来年度、高齢者実態調査を行い、高齢者の困りごとやニーズを明らかにし支援につなげていく」と答弁しました。



くすやま美紀議員

交通不便地域解消へ取り組みの拡充を

酒井議員は、今年1月から堀ノ内・松ノ木地域で実証運行が開始されたAIオンデマンド交通について質問。近隣の和泉地域からも運行を求める声が寄せられていることを紹介しました。

区は「和泉地域の住民からの要望は聞いている。夏頃に実証運行の効果をはかり、同地域でこのまま運行を続けるのか、別の地域で運行するのか検討していきたい」と答えました。



酒井まさえ議員

生活保護制度周知ポスター貼り出し拡大を提案

和氣議員は、区施設に貼り出されている生活保護制度の周知ポスターを、ネットカフェや商店街、区内の駅などにも協力を依頼し、掲示場所を増やすことを提案。

区は「ポスターをはがきサイズに縮小し、子ども食堂などで配布している。ポスターは効果的な場所を探していきたい」と答えました。また、聞こえが不自由な高齢者に対し「聞こえにくさのチェックシート」の活用と補聴器利用を促すよう提案しました。



和氣みき議員

子どもたちの人権を守れ

「子どもの権利に関する条例」「いじめの防止等に関する条例」制定へ

今定例会では、岸本区長から「杉並区子どもの権利に関する条例」「杉並区いじめの防止等に関する条例」が提案され、いずれも賛成多数で可決しました。

「子どもの権利」への認識は、子どもも大人も依然として十分ではありません。党区議団は、条例制定を通じて更なる普及啓発に努力すること、いじめを防止し、被害を受ける児童の尊厳を守り、すべての子どもが教育を受ける権利を保障することを求め、両条例の制定に賛成しました。

■条例案に対する各会派の賛否

上段① 杉並区子どもの権利に関する条例（可決、賛成 31: 反対 16）
下段② 杉並区いじめの防止等に関する条例（可決、賛成 40: 反対 7）

会派 人数	自 民 8	共 産 6	立 憲 6	公 明 6	無 都 4	維 無 4	生 ネ 2	れ 耕 2	安 心 1	参 政 1	革 新 1	セ ン 1	緑 グ 1	杉 わ 1	共 生 1	無 1	杉 ク 1	f r 1
①	×	○	○	○	×	○ ³ _{議長1}	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×
②	○	○	○	○	×	○ ³ _{議長1}	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×

【賛否】○/賛成、×/反対 「無維」は1名が議長の為、賛否は3名のみ表明。【各会派の正式名称】表面表参照

国民健康保険料 新年度引き下げへ

新年度の国民健康保険料は、前年度と比べ、一人当たり3,781円の引き下げとなります。物価高騰のもとでの保険料引き下げは重要であり、党区議団は国民健康保険事業会計予算に賛成しました。しかし、依然として、保険料負担が重いことには変わりはありません。国と東京都に財政支出を求めるとともに、区の独自繰入を継続し、引き下げに努めるよう求めました。

介護保険、後期高齢者医療の各特別会計予算については、一部値上げとなることから、反対しました。

戦後・被爆80年

若い世代を平和の担い手に

戦後80年事業として、区は、広島市の協力を得て「ヒロシマ原爆・平和展」の開催、区内の戦争遺構、平和施設などを掲載した平和マップの作成、被爆者証言記録映像の制作・公開等に取り組みます。

区長は、党区議団の質問に対し「『広島平和学習中学生派遣事業』に参加した中学生が、10年後、どのような気持ちで平和の担い手・語り手として繋がっていただけるかを念頭において、継続的な平和事業をデザインしていきたい」との認識を示しました。

日本共産党杉並区議団 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 TEL 03-3312-2111(内線2319) 区議団HP: <http://yuiuidori.net/jcpskd/>



くすやま美紀(団長)
☎080-5531-8236
荻窪5-15-19-704



山田耕平(幹事長)
☎090-9973-0941
善福寺2-2-11



富田たく(副幹事長)
☎090-9001-5249
高円寺南3-59-7-301



酒井まさえ
☎090-9325-5676
堀ノ内1-9-7



小池めぐみ
☎090-5516-3284
阿佐谷北1-3-9



和氣みき
☎090-4154-9786
浜田山3-26-27富貴ビル1F